

中等教育改革プロジェクト報告

渡瀬典子*・田代高章*・塚野弘明**

(2004年2月4日受理)

1. プロジェクト設立の趣旨

「中等教育改革プロジェクト」は平成16年度から新しく立てられた活動である。既存のプロジェクトが義務教育段階の教育実践・臨床を対象の中心にしてきたことを鑑み、本プロジェクトは後期中等教育（高等学校）及び中間一貫校を対象とした。今年度は岩手県教育委員会から「県立高校新整備後期計画（2005-09年度）」が発表され、高等学校再編計画が目下進行している。また、各高等学校で見られる地域性あるいは学校独自性を打ち出したカリキュラム改革も進められている。

そこで、今年度はプロジェクトの1年目として、高等学校再編計画と中間一貫校設立に関する状況をプロジェクト構成員で掴み、研究課題を共有することを第一の目的とした。

2. 検討打ち合わせ会議記録

プロジェクトの立ち上げ：平成16（2004）年6月24日

（内容）構成メンバー決定と今年度の活動方針について

第1回検討会議：平成16（2004）年8月10日

- （内容）(1)岩手県内の中等教育改革をめぐる動向
(2)岩手県内の中高一貫校創設に関する説明
(3)高校新整備後期計画について
(4)今後の検討事項

* 第1回会議と第2回会議の間に、中等教育改革に関する資料がプロジェクト構成員により新たに提供された。

→この資料に関する検討は会議を設定せず、個人間で行われた。

第2回検討会議：平成17（2005）年2月3日

- （内容）(1)平成17年度の体制について
(2)他大学における中等教育支援の動向
(3)今後の活動内容について

平成17年度は、岩手県における中等学校創設の意義と意味を探ることを視座に入れ、中等学校の特色あるカリキュラム、教師の意識調査をはじめとする現状把握及び課題提起を研究課題する予定である。